健康を気遣う大家さんへ

健康は富に勝る！

知っているようで知らない！

「薬用養命酒」



お答えいただいたのは
養命酒製造株式会社　マーケティング部 相原様

第２類医薬品
薬用養命酒
1000mL(約16日分)：2,376円
700mL(約12日分)：1,674円
(希望小売価格：税込み)

今回は、養命酒製造株式会社さんに取材へ行ってきました！



■養命酒って何？

「薬用養命酒」は薬用人参（ヤクヨウニンジン）など「体質の不足を補う」生薬（ショウヤク）、桂皮（ケイヒ）など「体を温める」生薬、紅花（コウカ）など「血行をよくする」生薬が処方されています。体の基本的な働きや、体質を整えながら、本来の健康に導く滋養強壮の薬酒（ヤクシュ）です。

実は、カンパリやカシスなどのよくカクテルとして提供されるお酒と同じく、お酒としての分類で言うとリキュールにあたります。また、生薬の持つ薬効を効率よく引き出すために、14種類の生薬を原酒に同時に浸漬します。すると成分が原酒とよく溶け合い、自然に近い状態で薬効成分が抽出されます。

「合醸法（ゴウジョウホウ）」と呼ばれるこの薬酒本来の製法は、各生薬の成分の浸出速度がそれぞれ違うため、高度な技術と経験が要求されます。合醸と熟成の過程を経ることで、風味がまろやかで芳醇となり、また、浸出過程では複数の生薬の薬効が結びつくため、生薬単体では得られない幅広い効果が得られます。

なお、少量のアルコールには血行促進、消化促進、中枢神経抑制による催眠効果などの作用があり、これらが処方生薬の作用に加わることで、全体の作用が増幅される特徴があります。

■どういう時に飲むのですか？

滋養強壮剤として大きく分けて7つの症状に効果的です。（胃腸虚弱、食欲不振、血色不良、冷え症、肉体疲労、虚弱体質、病中病後）これらの症状を緩和するため、少量を食前又は就寝前に服用してください。

1回に飲む薬用養命酒の分量は20mL。シナモン系のナチュラルな香りでほんのり甘く、初めての方でも飲みやすい味わいです。アルコール度数はワインと同じくらいの14度です。

■一般薬との違い

「薬用養命酒」は特定の疾病を治す対症療法の薬ではなく、体本来の機能を高めて、健康な状態に導く滋養強壮剤です。効果のあらわれ方は、服用される方の症状や体質によって異なります。食欲不振や冷え、疲れなどには、比較的早い段階で効果を実感される方が多いようです。

■健康管理についてのアドバイス

自分の体は自分が一番よく知っているはずなのですが、若くて最も元気だった頃のイメージが強く残っていると、自分の体への過信から無理をしてしまい、体調を崩してしまうことがあります。まずは今の自分の状態を正確に知ることが大切です。

東洋医学の教科書ともいえる文献『黄帝内経（こうていだいけい）』には、「女性は7の倍数」「男性は8の倍数」の年齢の時に節目を迎え、体に変化が訪れるという記述があります。「節目年齢」で、自分の体の変化が早まっていたりしないか、確認してみましょう。

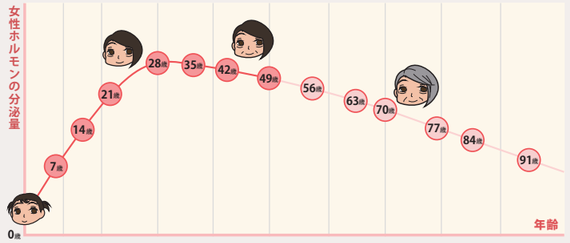
節目年齢は自分の体をチェックするための目安になります。

もう一方で大切なのは、自分自身の基準を持つことです。体調や体質が千差万別なら、健康の保ち方や加齢への対処法も人それぞれあって当然。そこで必要なのが、自分を客観的に見るための、自分の〝ものさし〟なのです。自分のものさしを持つと、昨日と今日の自分の体調や気分の変化に敏感になります。変調に早く対応することもできるでしょう。

また、薬用養命酒は穏やかな作用の滋養強壮剤です。少しずつ続けて飲んでいくことで、じっくりと効きめがあらわれます。

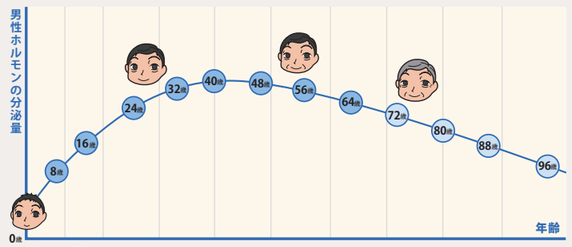
女は7の倍数、男は8の倍数で体は変化する！

東洋医学の文献に、「女性は７の倍数、男性は８の倍数の年齢の時に、体調に変わり目が訪れる」。そんな記述が見られます。加齢に伴う体の変化を周期的に見つめ、節目の年齢を意識することで、自分の体の状態をいま一度かえりみる。東洋に伝わる「養生」の知恵です。



女性の節目年齢は7年周期

- 7歳　永久歯に生えかわる
- 14歳　初潮を迎える
- 21歳　女性の体ができ上がる
- 28歳　女性として体が最も充実する
- 35歳　容姿の衰えが見え始める
- 42歳　白髪が目立ち始める
- 49歳　閉経。子を授かる事が難しくなる
- 56歳　イライラ、眼の疲れ、体力低下が起こりやすくなる。
- 63歳　動悸、息切れ、慢性疲労、不眠が起こりやすくなる。
- 70歳　食欲不振、胃腸虚弱、便秘・下痢が起こりやすくなる。
- 77歳　胃腸ケア、便秘対策を。生きがいを持ちましょう。
- 84歳　かぜをひきやすく、皮膚の乾燥、咳が起こりやすくなる。
- 91歳　女性として素晴らしい長寿。
  心身をケアして元気に年齢を重ねましょう。



男性の節目年齢は8年周期

- 8歳　永久歯に生えかわる
- 16歳　精通を迎える
- 24歳　男性としての体ができ上がる
- 32歳　男性として体が最も充実する
- 40歳　衰えが見え始める
- 48歳　白髪が目立つ
- 56歳　生殖能力が衰える
- 64歳　老年期に入る
- 72歳　食欲不振、胃腸虚弱
- 80歳　かぜをひきやすく、皮膚の乾燥、咳が起こりやすくなる
- 88歳　免疫力を下げない、のどのケア、
  こまめな水分補給を心がけましょう
- 96歳　男性として素晴らしい長寿。
  心身をケアして元気に年齢を重ねていきましょう。





お問い合わせ・ご相談
養命酒製造株式会社　Yomeishu
お客様相談室
TEL：03-3462-8222 / FAX：03-3463-9808
受付時間：月～金 9：00～17：00（土日、祝日、弊社指定休日を除く）

「養命酒」は1602年（慶長７年）に創始者の塩澤宗閑翁の健康への願いから創製され、今日まで造り続けられてきました。時代は変わっても、私たちに連綿と受け継がれているのは、皆様の健康生活に貢献しようとする精神であり、養命酒製造株式会社の全ての事業はこの理念を基本としております。

公式ＨＰ　http://www.yomeishu.co.jp/　養命酒 検索